

# 『2024年版統計調査報告書』

## ～防犯設備機器に関する統計調査～

公益社団法人 日本防犯設備協会 統計調査委員会

### はじめに

公益社団法人日本防犯設備協会の統計調査委員会では協会の設立以来、防犯設備業界の動向について調査研究を行っており、その基礎資料として設立翌年の1987年から37年に亘り、防犯設備機器に関する統計調査報告書を発行している。

この調査報告書は、当協会会員に対しアンケート形式の『防犯設備機器に関する統計調査表』を一斉に配布して得られた回答の集計と分析を行い防犯設備関連業界（防犯設備機器製造業、防犯システム施工業、機械警備業）の市場規模について考察を加えてまとめたものである。市場規模については、集計データ及び過去の実績から委員会独自方式による傾向分析に加え各種資料・文献などの関連資料（四季報、新聞、雑誌記事及び該当企業ホームページ）も参考にした国内市場規模の推定値に基づいている。その結果、2023年度の推定市場規模は、1兆3,510億円で、前年度比105.5%と2年連続前年度を上回る結果となり、侵入者検知器、監視装置、生活情報システム、出入管理装置、映像監視装置、一般防犯機器の全部門で前年度比100%を超える好調さを示す結果となった。

本統計調査報告書は毎年年度末に発行して会員や関係官庁などに報告し、防犯設備業界の発展と国民の安心な住環境の向上を図るための社会資本整備に寄与することを目指している。本稿ではその概要を紹介したい。

### 調査対象とする防犯設備関連業界と調査内容

調査項目である『防犯設備機器に関する統計調査表』は、業界の定点観測のため継続性を重視することを基本としながらも、昨今の市場の技術動向を考慮した上で新しい品目追加にも対応させている。

具体的な防犯設備関連業界として、(1) 防犯設備機器製造業、(2) 防犯システム施工業、(3) 機械警備業の3業界を発刊以来対象としている。

(1) 防犯設備機器製造業は、調査品目として、①侵入者検知器、②監視装置、③生活情報システム、④出入管理装置、⑤映像監視装置、⑥一般防犯機器の6品目を大分類項目としている。この大分類6品目に対して、中分類と小分類の2段階に細かく体系化を図っている。最新版の2024年版では22品目の中分類、64品目の中分類を採用した。小分類の品目に対応した技術や製品等の情報については備考欄に例示することで、分類上の具体化を行う。新品目への対応は主に小分類への品目追加を図ることで調査形態の継続性を図り最新動向にも柔軟に対応する調査方式としている。また新技術や新製品は備考欄に例示することで取り込んでいる。例えば直近の小分類追加として、映像監視装置に「映像管理システム（VMS）」を、出入管理装置の非接触式システムに「QRコード方式」を追加した。更に、生活情報システムに「スマートカメラ」を、映像監視システムに「エッジAIボックス」を備考欄に追加している。こうして調査方式の継続性を維持しつつ最新動向にも柔軟に適合させている。

調査内容としては、国内（自社、OEMに区分）と輸出に分けた防犯設備機器売上高から、市場規模を推定した。

- (2) 防犯システム施工業については、総売上高、及びその内訳である防犯設備機器の売上高、防犯システム設計・施工、防犯システムの保守・点検、その他からなる防犯関連の売上高について調査を行い、総売上高、防犯関連の売上高構成比、防犯設備機器の品目別売上高構成比、施設別施工売上高を示している。
- (3) 機械警備業については国内推定市場規模に基づき、機械警備料収入（警備料金）、防犯設備機器の品目別売上高構成比、機械警備システムへの品目別投資額構成比、機械警備対象施設数と受託件数を示している。
- 上記3業界の分析の他、(4) 防犯設備市場動向予測と、(5) 景気動向予測についても示している。
- (4) 防犯設備市場動向予測では、防犯設備機器市場、防犯システム施工市場、機械警備市場の3業界市場に関して、それぞれの関連項目について5段階（5:10%以上増加、4:やや増加、3:横ばい、2:やや減少、1:10%以上減少）で予測アンケート調査を実施し、集計したものを図示している。
- (5) 景気動向予測では、2024年度、2025年度の景気動向を国内全般及び防犯設備業界について、通年・上期・下期の景気を天気（晴れ、曇り、雨）で予測を表現するアンケート調査を行い、集計した結果を図示している。

## 2024年版防犯設備機器に関する統計調査報告書の総論と概要

2025年3月に発行された2024年版防犯設備機器に関する統計調査報告書は、2023年度の実績結果に基づき回答された『防犯設備機器に関する統計調査表』に基づいている。

### 総論～防犯設備関連業界の展望（製造業・施工業・機械警備業）

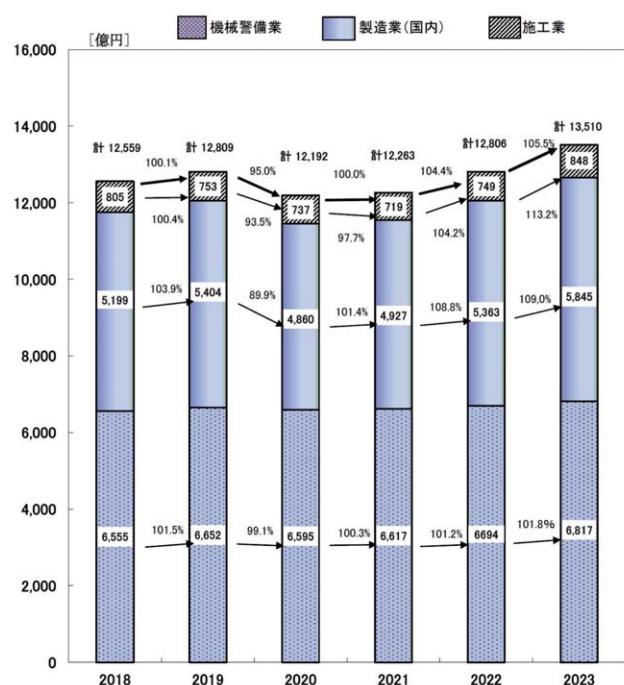
2023年は、刑法犯認知件数が前年より約8.9万件増加に転じ、2年連続前年を上回る70.3万件となった。また、検挙率も38.3%となり6年ぶりに40%を下回る結果となった。

しかしながら、児童虐待やストーカー事案、闇バイトによる凶悪犯罪のほか、匿名・流動型犯罪グループが犯行の分業化を図った上で、組織的に慣行している特殊詐欺も重大な課題となってきている。このようなことから、国民の治安への不安感も増しており、高品質かつ低価格な機器を市場に提供することにより、「世界一安全な国、日本」の実現に貢献すると言う防犯設備業界の使命はますます意義を増していると考える。

統計調査委員会では、防犯設備機器製造業、防犯システム施工業、機械警備業の活動実態をまとめた結果、2023年度の推定市場規模は、1兆3,510億円で、前年度比105.5%と2年連続前年度を上回る結果となり、侵入者検知器、監視装置、生活情報システム、出入管理装置、映像監視装置、一般防犯機器の全部門で前年度比100%を超え好調さを示す結果となった。

### 防犯設備推定市場の推移

社会の安全・安心に貢献する防犯設備市場！！



## 概要

### (1) 防犯設備機器製造業

防犯設備機器製造業の国内推定市場規模は約5,845億円で、前年度比109.0%の増加となった。2018年度の国内推定市場規模を100とした指数で見ると、2023年度は112であり、2018年度比で12ポイントの増加となっている。これは新型コロナウィルス感染症拡大前の2019年度の約5,405億円を超え、コロナ禍前の水準を超えるまで回復した。

品目別売上高の前年度比を見ると「生活情報システム」「映像監視装置」は10%を超える大幅な増加、「出入管理装置」「一般防犯機器」「監視装置」は堅調に増加、「侵入者検知器」は微増となり、全ての品目で前年度比増加となった。

品目別国内推定市場規模の動向としては、特殊詐欺の認知件数が増加していることや新型コロナウィルス感染症による防犯意識の高まりから、より一般消費者に近い品目の国内推定市場規模が増加する傾向にあり、「生活情報システム」の「一般用ドアホン」や「映像監視装置」の「アナログHDカメラ」システムの増加にその傾向がみられる。また、昨年追加した「映像監視装置」の「映像管理システム（VMS）」や「出入管理装置」のQRコード方式は、いずれも増加傾向にあり、今後の動向を注視したい。

#### ①侵入者検知器

侵入者検知器の国内推定市場規模は前年度比4.2%増の148億円となった。売上増の要因として、警備業の投資が増えたことが考えられる。

#### ②監視装置（非常用装置含む）

監視装置の国内推定市場規模は246億円、前年度比107.4%であった。前年度から引き続き増加傾向が見られ、コロナ禍前の水準に回復する結果となった。監視装置全体としては、前年度に引き続き機械警備業の堅調増加と昨今の闇バイトによる凶悪広域犯罪の多発や刑法犯認知件数増加による防犯への投資も重なり、今後も引き続き堅調増加が推測される。

#### ③生活情報システム（緊急通報システム含む）

生活情報システムの国内推定市場規模は816億円、前年度比111.2%となり、昨年に引き続き増加となった。2021年度以降、生活情報システムが大幅に増加している理由としては、特殊詐欺の認知件数が増加に転じたことや、新型コロナウィルス感染症による生活環境の変化や防犯意識の高まりによるものと思われ、一般消費者に近い品目を含む生活情報システムは、今後も暫く、この傾向が続くと推測される。

#### ④出入管理装置（バイオメトリクス・セキュリティゲート・自動車用リモコンキー含む）

出入管理装置の国内推定市場規模は、集計結果より839億円であり、前年度比で108.1%と増加、金額にして63億円増となった。2018年度から2年連続増加傾向の中、2020年度は減少となり、2021年度は景気が回復したように見えたが、2022年度は再び減少、2023年度は回復の兆しが見られた。昨年度から「バイオメトリクスシステム」中で「顔認証装置」を抽出し、集計を始めたが思ったほど顔認証装置の需要が伸びておらず、コロナ禍での体表面温度測定などの条件付での需要であったのではないかと推測する。

#### ⑤映像監視装置

映像監視装置の国内推定市場規模は、集計結果より約1,500億円で、前年度からは148億円の大幅な増加となっている。前年度比では110.9%と推定され、3年ぶりの増加となった。コロナ禍以前の販売に戻りつつあると推測される。映像監視装置の市場規模増加の要因は、市場標準がネットワークカメラとなったことや画像解析、AI技術などの防犯目的以外の分野への活用が広がり、前年度に引き続き「ネットワークカメラ」

が増加した結果と推測される。品目別では、カメラ、レコーダー共にネットワーク化が堅調推移し、アナログ全体では若干の減少傾向にある。ただし「アナログHDカメラ」は増加していることから、同軸ケーブルを使用したアナログ接続機器は今後も一定の需要が存在すると推測される。

#### ⑥一般防犯機器（防犯灯含む）

一般防犯機器の国内推定市場規模は、集計結果より2,296億円であり、前年度比で107.8%と増加、金額にして166億円増となった。これは2018年度の国内推定市場規模指数を100とすると111となる。2022年度より一般防犯機器全体で景気回復傾向の兆しが見られ、2018年を大きく上回る結果となった。要因としては、「車両防犯機器」と「防犯灯」の増加が顕著に推移しており、全体を引き上げる形となった。「錠前」においては、前年度より「一般錠」が減少したものの、「電気錠」がその分増加したため、前年度同等の数値であった。その他の機器に関しても、ほぼ前年度と等しい数値であった。

### （2）防犯システム施工業

防犯システム施工業における防犯関連売上高は848億円で前年度比113.2%の増加となり、2年続けての増加となった。防犯システム施工業では、防犯設備機器の品目別売上高構成比で映像監視装置と出入管理装置で全体の75.6%を占めている。映像監視装置や出入管理装置の需要は底堅い。為替の影響や部品価格の高騰などで価格の変動もあるが、今後も同様の傾向で推移するものと推測される。

防犯関連事業売上高構成比は、前年度と比較して「防犯設備機器の販売」が前年比120.7%と増加した、「防犯システムの設計・施工」は、前年比111.3%、「防犯システムの保守・点検」は前年比97.7%の減少となった。

防犯設備機器の品目別売上高構成比は、「生活情報システム」が2022年度の5.23%から6.21%へと増加した。「映像監視装置」が全体の半分以上を占めていて、「出入管理装置」と合わせると全体の8割前後を占めることはここ数年変わっていない。

施設別施工売上高について、一般住宅が約150億円、法人・官公庁・公共施設等が約284億円、その他が21億円となっており、増加傾向が認められる。

### （3）機械警備業

機械警備業における推定市場規模は、前年度比101.8%の6,817億円と推定した。機械警備業市場においては、コロナ禍前の生活習慣へ回帰するとともに闇バイトによる凶悪広域犯罪の多発から防犯意識が高まる要因が重なり、前年度比101.8%と3年連続で増加傾向を維持した。刑法犯認知件数の増加傾向が止まらず、2022年度から日本各地で発生している凶悪広域犯罪により犯罪に対する不安は増大し、機械警備に寄せる期待は高まっている。更にAI機能搭載ネットワークカメラの登場や高度な映像解析により属性分析・人流分析などマーケット活用が図られ、防犯目的だけでないカメラの活用需要も増加しており、今後の動向に注目したい。人件費の高騰などの影響で2023年度より警備業界を挙げて警備料金の値上げ交渉が開始されたことは、機械警備料収入において今後大きく影響してくると推測する。

防犯設備機器の品目別売上高構成比は、前年度から映像監視装置の比率と生活情報システム及び出入管理装置が増加し、監視装置が減少する結果となった。映像監視装置の比率は、依然高い傾向が続いており昨年度微減したが今年度は増加に転じた。振り込め詐欺対策や広域強盗対策としての関連品目需要が増加した結果と推測される。

機械警備システムの品目別投資額構成比は、前年度から品目別投資額の比率に変化はみられない。昨年度微減していた出入監視装置及び映像監視装置の比率が増加し、他の品目が一律微減する結果となった。機能向上が著しい映像監視装置への期待による影響と推測する。

機械警備の受託件数の推移は、闇バイトによる凶悪広域犯罪の多発による体感治安の悪化ならびに刑法犯認知件数の増加を受けての防犯意識の高まりから結果として前年度比102.3%の受託件数となった。

機械警備業における機械警備受託構成比について、一般住宅向け55%、法人向け・その他が45%と、前年度から構成比に大きな変化はみられないが、今後の一般住宅向けの伸びに期待したい。

## むすび

2025年3月に発行された2024年版防犯設備機器に関する統計調査報告書について概要を紹介した。防犯設備機器製造業、防犯システム施工業、機械警備業の活動実態をまとめた結果、2023年度の推定市場規模は、1兆3,510億円で、前年度比105.5%と2年連続前年度を上回る結果となり、侵入者検知器、監視装置、生活情報システム、出入管理装置、映像監視装置、一般防犯機器の全部門で前年度比100%を超える好調さを示す結果となった。

2025年4月に5年ぶりに改正された警察庁の『安全・安心まちづくり推進要綱』では防犯カメラの設置についての言及が大幅に増える等、防犯設備の社会実装の推進が一層期待されている。統計調査委員会ではこうした世の中の大きな動向も見据えて防犯設備機器に関する調査、分析を協会会員の協力のもと、継続して行く予定である。

# 「安全・安心まちづくり推進要綱」の改正及び 「防犯カメラの設置の推進について(通達)」の発出について

このほど警察庁生活安全局より、みだし通達について下記の記述が盛り込まれた形で、全国警察宛に発出され、警察庁HPにおいて公開されていますので、皆様の業務の参考としてください。

記

## 1. 「『安全・安心まちづくり推進要綱』の改正について」

(令和7年4月16日付警察庁生活安全局長)

「安全・安心まちづくり推進要綱」(以下「要綱」という。)の主な改正点中「(2) 資機材の整備について」では、「防犯設備業界による防犯診断等を行うなど、(資機材の整備の) 効果が最大限高められるよう努めること」と、「(4) 防犯カメラの設置について」では、別紙1「道路、公園、駐車場の整備・管理における防犯上の留意事項」の「第2 留意事項」中「4 その他④」において、「地方公共団体、防犯設備の専門家等と協働しつつ、防犯カメラの適正かつ効果的な設置・管理のために必要な情報の提供・助言等を行うこと」と、及び別紙3-3「防犯カメラの設置に当たっての他の留意事項」の「必要な機能・性能」において、「防犯設備の専門家等から助言を受けるなどしつつ、公益社団法人日本防犯設備協会が優良防犯機器認定制度（RBSS）において設定している、犯罪抑止や犯罪発生後の対処・追跡等の用途に必要な機能・性能を参考に、可能な範囲で、一定以上の画質水準や夜間でも撮影が可能な機能等、高度な機能を有した防犯カメラを調達・運用するように働き掛けること」と記載されている。

(<https://www.npa.go.jp/laws/notification/anmatiyoukou.pdf>)

## 2. 「防犯カメラの設置の推進について」

(令和7年4月16日付警察庁生活安全局生活安全企画課長)

令和6年12月17日の犯罪対策関係閣僚会議において策定された緊急対策及び上記1の「要綱」の改正を踏まえ、各都道府県警察に対し、要綱を参考に「防犯カメラの設置が必要な場所の洗い出し」、「自治体等との連携の強化」及び「防犯カメラの設置・運用に当たっての留意事項」を指示したもの。

なお、「防犯カメラの設置・運用に当たっての留意事項」中、「要綱を参考に、一定以上の画質水準等の機能や十分な保存期間が確保されるよう配意すること」と記載されている。

(<https://www.npa.go.jp/laws/notification/seian/seiki/bouhankamera.pdf>)

# SECURITY SHOW 大阪 2025

日本経済新聞社主催のセキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 大阪 2025」が、7月10日（木）～11日（金）にインテックス大阪にて開催されました。

一般社団法人総合防犯士会とNPO法人大阪府防犯設備協会及び公益社団法人日本防犯設備協会の共催により「防犯相談コーナー」を開催し、一部を除き防犯ガイド等を無料配布しました。

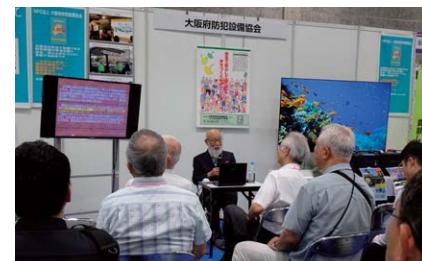
大阪府防犯設備協会ブースにおいて【防犯セミナー】が行われました。特殊詐欺など最近の犯罪情勢、防犯対策事例、AIやドローンを活用した防犯システムなどをテーマに、社会の安心・安全を守るための情報や最新技術を紹介されました。



＜防犯相談コーナー＞



＜防犯相談コーナー＞



＜大防設セミナー＞

## ★★★日本防犯設備協会のYouTube専用チャンネルのご紹介★★★

ホームページ・会報誌とは異なる広報媒体として、YouTubeに専用チャンネルを作成して動画を使用した広報を強化しています。

いろいろな動画を掲載し、防犯・セキュリティ業界に興味を持っていただくと共に、安全安心まちづくりに役に立つよう頑張っています。チャンネル登録とグッドボタンを押して応援をお願いします。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1. チャンネル名   | 防犯のプロチャンネル     |
| 2. 作成者      | 広報分科会          |
| 3. 収録動画     | 72本（2025年6月現在） |
| セキュリティショー関連 | 38本            |
| 各種セミナー      | 16本            |
| その他の紹介等     | 18本            |

「防犯のプロ」チャンネルは  
こちらから



【緊急調査】現代の闇バイト  
徹底解剖！～手口から対策…

ホーム 動画 ショート 再生リスト 投稿

新しい順 人気の動画 古い順

ロックの日「選ばれない家」防犯設備士求... 1136回視聴

防犯ガラスやシャッタ... 845回視聴

千葉市住宅街高齢女性刺殺事件 3818回視聴

第二回総合防犯設備士スキルアップセミナー... 642回視聴

3月7日防犯セミナー「闇バイト強盗事件... 149回視聴